

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月7日

【評価実施概要】

事業所番号	272700949		
法人名	株式会社 ゆとり		
事業所名	グループホームゆとり		
所在地 (電話番号)	〒039-1211 青森県三戸郡階上町蒼前東6丁目9-181 (電話) 0178-88-1920		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 12月 12日	評価確定日	平成 20年 2月 7日

【情報提供票より】(平成 19年 11月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造トタン屋根 造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(11月 25日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 81 歳	最低	70 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	木村クリニック・つきだて歯科・シルバー病院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地の中にグループホームがあり、地域住民との連携が図られやすい環境である。そして、地域の社会福祉協議会で開催する交流会にも積極的に参加し、独居高齢者とも多く関わりを持つ事で、グループホームだけでなく地域福祉の増進にも一翼を担っている。グループホーム内は家庭的で共用スペースも手作りの装飾に囲まれ、居室内も、愛用品の持ち込みで落ち着いて過ごせる環境を作っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	緊急時マニュアルや感染症マニュアルの作成、また、感染症対策もきちんと行われていた。しかし、ハード面の環境整備(冬期の寒さ対策)に不足な部分があり、今後も継続して改善の取り組みを期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の内容を見直し、職員全体で改善に向けて取り組んでいる状況。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は、役場職員や町議会議員にも参加して頂き、情報交換の場になっている。そこでは、地域で暮らす独居老人の支援などについても話し合わせ、今後は認知症に関する介護教室を開催予定との事。今後も、地域と連携したホーム運営に期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	家族や利用者からの意見や苦情は、きちんと受け止め職員全員で検討し解決に向けた取り組みをしている。また、家族へは毎月1回生活状況の報告を送付をするなど、家族の不安解消にも努めている。今後も継続を期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に参加し、町内行事にも参加している。また、地域の方を招いた行事等も積極的に行っていて交流も多い。今後は、地域と合同で防災訓練も予定されているとの事で、更に、地域との連携を継続して頂くことを期待したい。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念は昨年見直され、ホーム内にも掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会社全体の理念は掲示してあり理解されているが、グループホーム独自の理念は、理念作成に関わった職員しか理解しておらず、新人職員へは周知されていない。		理念作成時の職員だけでなく、全職員に理解してもらい、日々のケアに活かして頂く事を期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	隣近所の方が、時々採れたて野菜を差し入れしてくれる。夏には、地域住民と焼き肉パーティーを開催した。また、地域の保育園行事に見学参加したり、町内の草取りなどにも参加するなど積極的に関わりを持っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を通して、改善点の見直しにつながっている。改善点については職員全員で取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での検討事項は、年間計画で予定され、区長・役場職員・町議会議員・家族など毎回参加していただいている。会議では、意見や要望等を出してもらうことで意見交換ができています。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	連絡を取り合って情報交換をしたり、待機状況の確認に出向いたりするなど、役場との関わりはきちんと持っている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前、利用を検討した方がおり、専門家に来所頂き、説明をお願いした。その時に職員も一緒に学び、その後も支援できている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルの作成もなく、研修会など行われていない。		何が虐待行為なのかを理解する必要がある。マニュアル作成に伴い、職員が理解を深めてくれる事に期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>きちんと時間をかけて説明し、納得していただいている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、お小遣いなどの会計報告と共に経過報告を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族・利用者からの意見や要望は、職員間でも周知するよう連絡ノートなどを活用し、その後のケアに活かしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>急な退職時は、会社内事業所での人事調整がある。管理者が配慮し、利用者に影響がないよう対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規採用時は、新人職員研修を行っている。また、外部研修にも積極的に参加し、報告書は全職員が閲覧する事で情報の共有ができています。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協会にも加入し、事業所間での情報交換を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前などに事前訪問等行うことで、利用者や家族とも信頼関係があり、入居後も家族の協力を仰ぎながら生活になじんで頂くよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を支援しながらも、利用者から学ぶことも多い。また、利用者同士が不穏な状況になった時には、職員がきちんと利用者に関わることで回避できている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族からの情報収集、そして、生活を送る中で得られる情報に向き合い、利用者が望む生活に近づけるよう努力している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画に関わる情報収集(家族や本人の意向)が不足しており、担当職員中心の介護計画になる傾向がある。</p>		<p>本人や家族の生活に対する思いをきちんと確認し、関係者ともよく話し合っって介護計画を作成することが望ましい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態の変化など、臨機応変に見直しがされない傾向が見受けられた。</p>		<p>本人や家族からの情報収集はもちろん、関係職員からも日頃の気づきを意見してもらい、より多くの情報をもとに介護計画を作成して頂くことを期待したい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>予定事項以外でも、利用者に合わせてできるだけ希望に添うよう柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	グループホーム入居前からの主治医と継続して関わりを持っており、安心して医療も受けられるよう支援している。受診は、臨機応変に対応し、個々の体調管理を行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	対象者もないため、マニュアル作成や内部研修会の開催などに至っていない。		利用者がどんな状況になっても対応できるようにマニュアルの整備をし、納得できる終末期を支援することに期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者を尊重した対応を基本とし、日々の関わりに関しては職員会議などで振り返られている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活のペースに合わせて、何事にも臨機応変に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日ではないが、メニューによっては食事作りや茶碗洗い等も、役割を持って手伝ってもらっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の状態に応じて利用予定時間を変更したり、入浴できない場合は足浴や清拭に変更している。希望があれば同性介助をしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>長年の趣味や技術を活かし、それぞれに役割を持つ事で気晴らしができています。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>美容院へ同行したり、嗜好品の購入など希望に合わせて対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	マニュアルの作成もなく、勉強会も開催されていない。		身体拘束をしていないから良いという事ではなく、マニュアル作成や勉強会等で具体的な行為をきちんと理解して頂くことに期待したい。
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	グループホーム内は鍵はかけることがなく、玄関も自由に出入りができる環境である。		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	緊急連絡システムを作成し、年2回グループホーム内で防災訓練を行っている。また、緊急時は地元消防団との協力体制を確保している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事・水分摂取状況の観察は毎日行っている。摂取不良時等は高カロリーの飲食物で代替をしている。		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	感染症マニュアルがある。また、インフルエンザ予防接種や手洗い後のペーパータオルの使用など取り組みがされている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>テーブル席やこたつを置くことで家庭的な共用スペースになっていて、個々で馴染みの居場所がある。また、周囲も季節感のある手作りの装飾があり、ぬくもりを感じることができる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、家族に協力してもらい馴染みの私物を持ち込んでもらっている。それぞれ個性があり工夫されている。</p>		

 は、重点項目。